

2017年度 産業廃棄物処理施設の維持管理状況の情報の公表

設置者名	新潟環境開発株式会社
施設名称	産業廃棄物中間処理施設
設置場所	新潟県小千谷市大字岩沢字田代4247-1
問い合わせ先	0258-86-2751

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下「法」という。)の規定に基づき、維持管理に関する情報を公表します。

(産業廃棄物処理施設の維持管理等

法第十五条の二の三第二項 次の産業廃棄物処理施設の設置者は、当該産業廃棄物処理施設の維持管理に関する計画及び当該産業廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報であって環境省令で定めるところにより、インターネットの利用その他の適切な方法により公表しなければならない。

1 廃棄物処理施設の維持管理に関する計画

設置又は変更の許可申請書、軽微な変更等の届出書、設置の届出書に記載すべき事項

別紙のとおり

2 廃棄物処理施設の維持管理の状況に関する情報

(公表すべき維持管理の状況に関する情報)

第十二条の七の二 法第十五条の二の三第二項の環境省令で定める事項は、次の各号に掲げる施設の種類に応じ、当該各号に定める事項とする。

環境省令の該当する号	施設の種類	公表事項
第一号	焼却施設(ガス化改質方法の焼却施設及び電気炉等を用いた焼却施設を除く)	以下のとおり

イ 処分した産業廃棄物の各月ごとの種類及び数量

(単位:kg) 2017年度

産業廃棄物の種類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
汚泥	25,940.85	12,137.6	13,324	13,980.5	8,683.0	12,469.0	15,750	11,823.5	17,946	8,452	8,915	9,072.5
廃油	19,222.4	15,183	40,055	14,490	13,910	20,860	9,516	25,570	38,622	26,805	11,676	31,115
特管廃油	15,450	11,807	15,275	20,545	23,330	14,230	20,695	22,010	30,877	13,670	19,010	15,051
廃酸	0	0	0	2,145	5,310	12,650	6,080	9,980	20	356	0	0
廃アルカリ	30	0	0	60	140	31	0	4,510	0	177	0	0
廃プラスチック類	742,268	617,573	702,790	700,805	614,460	692,089	752,780	649,178	727,060	656,840	589,920	794,950
紙くず	530	470	640	600	780	300	1,690	1,200	470	360	0	740
木くず	92,180	98,520	90,990	137,760	115,230	94,560	146,520	122,610	82,030	38,050	58,760	60,810
繊維くず	1,920	540	5,120	2,750	2,020	2,110	3,360	650	2,680	790	370	810
動植残渣	31,950	40,020	36,970	34,540	47,520	42,520	55,810	47,230	42,860	38,650	33,510	51,590
ゴムくず	3,580	4,140	4,590	4,110	3,710	4,100	3,430	6,630	3,810	4,490	4,130	4,030
金属くず	1,690	40	405	130	1,050	0	60	390	500	30	120	1,850
ガラスくず及び陶器くず	3,310	3,680	3,430	5,155	3,165	5,500	6,395	945	7,255	1,042	1,648.4	3,108
感染性廃棄物	16,380	16,795	18,475	16,370	18,495	18,185	18,080	17,410	19,635	17,470	16,380	20,580
水銀使用製品産業廃棄物							940	510	290	170	280	1,648

ロ 測定に関する事項

現在2017年度のダイオキシン類などの測定日と同日のデータを掲載しております。

温度の測定に関する事項	測定を行った位置	測定の結果を得られた年月日	測定の結果
燃焼室中の燃焼室の温度	フローシート、A	平成29年9月14日	818 [°C]
集じん器に流入する燃焼ガスの温度	フローシート、B	平成29年9月14日	169 [°C]
煙突から排出される排ガス中の一酸化炭素の濃度	フローシート、C	平成29年9月14日	25 [ppm]

ハ 冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去を行った年月日

2017年度	冷却設備	排ガス処理設備
4月	1,3,4,5,6,7,8,10,11,12,13,14,15,17,18,19,20,21,22,24,25,26,27,	1,3,4,5,6,7,8,10,11,12,13,14,15,17,18,19,20,21,22,24,25,26,27,
5月	9,10,11,12,13,15,16,17,18,22,23,24,25,26,27,29,30,31	9,10,11,12,13,15,16,17,18,22,23,24,25,26,27,29,30,31
6月	1,2,3,5,6,7,8,9,12,13,14,15,16,17,19,20,22,23,26,27,,28,29,30,31	1,2,3,5,6,7,8,9,12,13,14,15,16,17,19,20,22,23,26,27,,28,29,30,31
7月	1,3,4,5,6,7,8,10,11,12,13,14,15,18,19,20,21,22,24,25,26,27,28,29,31	1,3,4,5,6,7,8,10,11,12,13,14,15,18,19,20,21,22,24,25,26,27,28,29,31
8月	1,2,3,4,5,6,7,8,9,23,24,25,26,28,29,30,31	1,2,3,4,5,6,7,8,9,23,24,25,26,28,29,30,31
9月	1,2,4,5,6,7,8,9,11,12,13,14,15,16,19,20,21,22,23,25,26,27,28,29,30	1,2,4,5,6,7,8,9,11,12,13,14,15,16,19,20,21,22,23,25,26,27,27,28,29,30
10月	2,3,4,5,6,7,10,11,12,13,14,16,17,18,19,20,21,23,24,25,26,27,30,31	2,3,4,5,6,7,10,11,12,13,14,16,17,18,19,20,21,23,24,25,26,27,30,31
11月	1,2,6,7,8,9,10,11,13,14,15,16,17,18,20,21,22,23,24,25,27,28,29,30	1,2,6,7,8,9,10,11,13,14,15,16,17,18,20,21,22,23,24,25,27,28,29,30
12月	1,2,4,5,6,7,8,9,11,12,13,14,15,16,18,19,20,21,22,23,25,26,27,28,29	1,2,4,5,6,7,8,9,11,12,13,14,15,16,18,19,20,21,22,23,25,26,27,28,29
1月	4,5,6,9,10,11,12,13,15,16,17,18,19,20,22,23,24,25,26,29,30,31	4,5,6,9,10,11,12,13,15,16,17,18,19,20,22,23,24,25,26,29,30,31
2月	1,2,3,5,6,7,8,14,16,17,19,20,21,22,23,24,26,27,28	1,2,3,5,6,7,8,14,16,17,19,20,21,22,23,24,26,27,28
3月	1,2,3,5,6,7,8,9,12,13,14,15,	1,2,3,5,6,7,8,9,12,13,14,15,

ニ 前条第五項の規定によりその例によることとされる第四条の五第一項第二号カの規定による測定(令第七条第十二号に掲げる施設にあっては、前条第五項代二号及びハの規定による測定を含む。)に関する次に掲げる事項

現在2017年度のデータを掲載しております。

排ガスの測定に関する事項	測定に係る排ガスを採取した位置	測定に係る排ガス等を採取した年月日	測定の結果の得られた年月日	測定の結果	
排ガス中のダイオキシン類の濃度(毒性等量)	フローシート、F	平成29年9月14日	平成29年10月19日	0.13	[ng-TEQ/m ³ ・N]
焼却灰中のダイオキシン類の濃度(毒性等量)	フローシート、E	平成29年9月15日	平成29年10月19日	0.34	[ng-TEQ/g]
ばいじん中のダイオキシン類の濃度(毒性等量)	フローシート、D	平成29年9月15日	平成29年10月19日	0.43	[ng-TEQ/g]
ばいじん濃度(換算値)	フローシート、F	平成29年9月14日	平成29年10月2日	0.02	[g/m ³ ・N]
窒素酸化物濃度(換算値)	フローシート、F	平成29年9月14日	平成29年10月2日	48	[ppm]
硫黄酸化物濃度	フローシート、F	平成29年9月14日	平成29年10月2日	0.02	[m ³ /h]
塩化水素濃度(換算値)	フローシート、F	平成29年9月14日	平成29年10月2日	3	[mg/m ³ ・N]

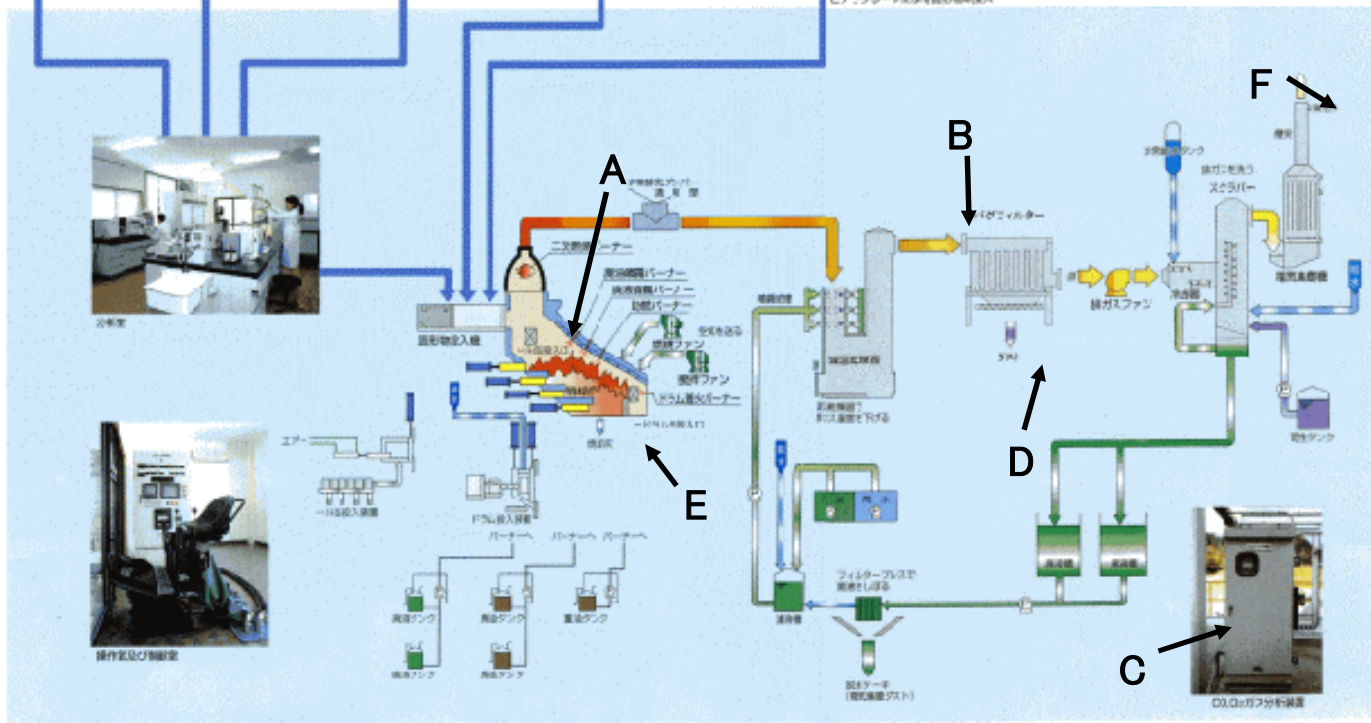
産業廃棄物の処理フローシート



●**固形物ピット**
 廃プラスチック類、ゴミくず、木くず、びんくず及び陶磁器くず、金属くず、繊維くず、紙くず、粉砕物を搬送



株式会社環境建設が運営する工場



●**減湿乾燥器**
 二次燃焼炉で燃焼に耐えられなかった物を乾燥させます。場内で集水された雨水も、ここで乾燥処理されます。



●**バグフィルター**
 ガスを通過させることで、10μm以上、ダイオキシン類、重金属を除去します。

●**スクラバー集塵装置**
 液体リークNaOH溶液と水を噴霧し、排ガス中の塩酸を除去します。

●**湿式電気集塵機**
 高電圧によって燃焼中燃焼灰マイナスイオン化して、プラスチックの集塵機に引きつけ1ミクロン以下の微粉を効率よく捕集します。

●**CO₂ガス分析装置**
 常に排ガス中のCO₂（二酸化炭素）及びO₂（酸素）濃度を監視、記録し、異常発生時に警報を発信します。

●**分析**
 原子吸光光度計、ガスクロマトグラフィー、分光光度計、熱重量計、引込試験器等を使用し、燃入物の燃焼物や、燃えかすなどの性状を分析・判定します。

●**排ガス対策**
 廃棄物を焼却したときに発生する燃焼ガス中の有害物質は、バグフィルター及び湿式スクラバー装置により取り除き、法規制値以下で排出します。

●**臭気対策**
 焼却及び未燃ガスなどは、二次燃焼炉において高温燃焼しますので、排ガス中に臭気は発生しません。

●**汚水対策**
 当施設は、クローズドシステムを取り入れており、取入れ、排水は厳密に管理しますので、汚水は場外へ放流しません。

●**焼却灰（もえかす）**
 焼却灰は、自社の分析室にて性状を確認した後、依頼者への管理記録簿を添付し、場外へ搬出します。

